



大阪+知的障害+地域+おもろい=創造

知の知の知の知

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所情報誌通算 3870号 2017.9.1 発行

宿泊しながら実習、福祉施設完成 京都に国内初

京都新聞 2017年8月30日



特養、保育所、障害者通所施設が一体化した施設で、実習生が宿泊しながら現場実践できる「マ・ルート」(京都府宮津市波路)

宿泊施設を備えた実習施設と特別養護老人ホーム、保育所、障害者通所施設が一体となった総合実習センター「マ・ルート」が京都府宮津市波路に完成した。宿泊しながら現場実践できる福祉施設は国内初という。不足する福祉分野の人材育成を目指す。9月1日から業務を開始する。

事業所や団体、関係機関が連携し、地域全体で福祉の担い手を養成する府の「府北部福祉人材養成システム」の一環。2015年度に介護福祉士養成校を舞鶴市で開校、現任者研修を福知山市で実施するなど準備を進めてきた。

宮津湾に臨む施設は一部3階建て延べ約3500平方メートルで、木を多く使った温かみのある内装。社会福祉法人みねやま福祉会(京丹後市)が運営し、国や府、宮津市の支援を得て総事業費12億9800万円をかけて建設した。

介護福祉士などを目指す学生のための現場実習やインターンシップを受け入れ、各事業所で実習してもらう。実習生用の個室を8室整備した。

マ・ルートの榎田啓施設長(35)は「福祉の仕事の魅力を体感してもらえる施設にしたい。各分野の垣根を越えて地域の人とも交流したい」と話している。

模擬面接など体験 障害者の就労へ、支援機関の職員研修 栃木

下野新聞 2017年8月31日



模擬面接に臨む各障害者就労支援事業所の職員

【栃木】県南圏域障害者就業・生活支援センター「めーぷる」(壬生町あけぼの町)はこのほど、市勤労者総合福祉センターで、主に県南地域の障害者就労支援機関の職員を対象とした研修会を開いた。参加者は障害者の就職活動に備え、意見交換を行った。

障害者就労支援の連携強化や、円滑で効果的な支援を実施するため、同センターが年度内に全5回実施。3回目となった今回は、9月に県内3カ所で開かれる「とちぎ障害者合同就職面接会」対策として、民間企業による講話や模擬面接などを実施した。

障害者の学習支援を充実 スペシャルサポート大使で

教育新聞 2017年8月30日

障害者スポーツ関係者や著名人などが大使に

文科省は、障害者の生涯を通じた学習支援の充実や推進に向け、その理念の普及と啓発を担う「スペシャルサポート大使」8人を任命。8月29日に同省で任命式を行った。林芳正文科相は大使に任命証を手渡し、「幅広い分野で活躍する皆様の力で強力な発信を期待している」と、エールを送った。

大使には、障害者の元スポーツ選手や芸術家、障害者支援に携わる著名人などを任命。▽(一社)Get in touch 代表の東ちづるさん▽(公財)スペシャルオリンピックス日本理事長の有森裕子さん▽(一社)日本パラリンピアンズ協会副会長の大日方邦子さん▽日本福祉大学客員准教授の金澤翔子さん▽(一社)日本パラリンピアンズ協会会長の河合純一さん▽ヴァイオリニストの川島成道さん▽イラストレーターの横溝さやかさん▽ラジオ DJ のレモンさん(山本シュウ)―が就任した。

各種の広報活動やイベントなどで、障害者の生涯を通じた学習支援を促す告知やPR活動などに取り組んでもらう。就任式では、林文科相が大使に向けてあいさつ。「皆様には、取り組みの重要性を広くアピールするお手伝いをお願いしたい。お力を借りながら、効果的で強力に、全国民の方々への発信ができるのを大いに期待している。さまざまな場面で共に取り組んでいただきたい」と励ました。

河合さんは、「中学校教員をしていたため、人の育ちについて常に考えていたし、自分でも学びを深めていた。サポートとともに自分自身が学び続けていきたい」と述べた。「2020年の東京オリンピック・パラリンピックでは、いつでもどこでも誰もがスポーツを楽しめる社会を目指そうとの声があるが、『いつでも、どこでも、誰もが学び続ける』社会も広めていきたい」とも加えた。



特別支援学校の教室確保を要望



障害者県連絡協、県に 佐賀新聞 2017年08月31日
県障害福祉課の担当者(左列)に要望内容を説明する連絡協議会メンバー(右列)＝佐賀市の県庁

「障害者(児)の生活と権利を守る佐賀県連絡協議会」は29日、特別支援学校での教育環境の充実や公的施設でのバリアフリーの推進などを求めた15項目の要望書を県に提出した。11月末までの文書での回答を求めている。

興梠多津子会長らが県庁を訪れ、県障害福祉課に要望書を手渡した。特別支援学校で増加傾向にある生徒数に対応した教室の確保や、放課後児童クラブの職員増などを求めている。

意見交換では「通学するためのスクールバスのコースと自宅が遠く、利用できない地区がある」という指摘や、障害の等級の関係で公的助成を十分に受けられない人たちへの支援を要請する声もあった。

興梠会長は要望後、「障害があってもその人らしく生きられるように、福祉を保障してもらいたい」と強調した。

飛騨地域4LC、障害者支援施設に人型ロボット贈る

岐阜新聞 2017年08月31日
飛騨地域の4ライオンズクラブが高山山ゆり園に贈ったロボット＝高山市花岡町、ひだホテルプラザ

飛騨地域の高山、神岡、下呂、高山せつ城の4ライオンズクラブは30日、岐阜県高山市山田町の障害者支援施設



高山山ゆり園に、人型ロボット「パルミー」を贈った。会話ができることから、施設の入所者らに交流を楽しんでもらう。

岐阜、三重県のライオンズクラブの最高責任者の訪問を記念して寄贈。同市花岡町のひだホテルプラザで行われた4クラブの合同例会の席上、施設を運営する飛騨慈光会の窪田哲理事長に手渡された。

同園では、利用者の前で話したり、歌や踊りを披露したりする。舟洞勝義施設長は「職員の1人として育てたい。利用者に癒やしを与え、愛着の感情を呼び起こしてくれるのでは」と期待を込めた。



感性光る障害者アート 読売新聞 2017年8月31日
発想豊かな作品が展示されている会場（岡山市北区のさん太ギャラリーで）

◇北区 県内15人、50作品展示

障害者らが美術教育などを受けずに制作した作品展「岡山アールブリュット展2017夏」が、岡山市北区のさん太ギャラリーで開かれている。県内の5～40歳代の15人が約50点を出品。独自の視点や感性を表現

している。9月3日まで。

障害者の社会的自立を支援するNPO法人「FOT（ふおっと）」が主催。障害者への理解を深めてもらおうと2013年夏に始め、毎年1、2回行っている。

自閉症の20歳代男性の絵は、赤や黄緑などの色画用紙を貼ったキャンバスに迷路のような線が描かれている。同法人の延原誠理事長（46）によると、制作中の周囲の雰囲気表れているという。

また、記憶するのが苦手で、道順を覚えるために目印となる場所をメモ代わりに撮影してきた男性は、公衆トイレなどの写真を出品。風景やドラマの一場面からインスピレーションを得た絵を描いた岡山市中区東川原、片島幸代さん（43）は「作品展があると気合が入る。他のすばらしい作品と一緒に展示してもらい感謝している」と話した。

入場無料。期間中無休、午前10時～午後5時（最終日は午後4時まで）。問い合わせは同法人（086・238・8340）。

学校に行きたくないあなたへ

NHK ニュース 2017年8月30日

夏休み終わりだね。

長かった夏休み、どうだった？

楽しいこと、あったかな？

久しぶりに学校が始まるけど、友だちに会うの、楽しみ？

「学校に行くの、いやだな…」って思っている人もいるかもしれません。「ずっと夏休みが

続いてくれたらなあ」って思ってる人も、きっといるでしょう。

ネットを見ても、8月の終わりが近づくとつれて、こんな書き込みが増えてきました。

「学校いきたくねえ。真面目に嫌だわ」

「どうしよう 学校行こうかな 行かんと怒られるしな どうしようかなでも行きたくないな」



「明後日から学校だけどみんなに会るのが嫌…無理…会いたくない…めんどくさい…」

大変なことが起きてるんだ

2学期が始まるこの時期、実はとっても悲しいことが起きてるんだ。これまでの40年ほどを調べてみたら、9月1日とその前後に、自分で命を絶ってしまう子どもが多かったんです。夏休みが終わるこのころ、生活のしかたが変わるよね。それで、気持ちがゆれ動いたり、しんどくなったりするそうなんだ。

しんどかったら **学校** 行かなくていいんだよ

お父さんやお母さん、まわりの大人たちからは、「学校にちゃんと行きなさい！」と言われていたり、かもしれないね。

学校に行けば勉強できるし、友達とも会えるし、いろんな体験ができるよね。学校が楽しいと一番いいんだけど、楽しくないという人もいます。いじめられたり、いやがらせをされたりしているかもしれません。学校に行くのがほんとうにいやで、もう、どうもしんどかったら「行かなくていいんだよ」と、いろんな人が呼びかけています。

新学期がゆううつなみんなのために、いま、NHKがキャンペーンをやっていて、いじめのことをよく知っている荻上チキさんは、こんなメッセージを寄せてくれました。



荻上チキさん

「いじめがわからなかったの、学校が何かの理由でつぶれてくれないかなと思ってました。帰宅後のゲームやテレビ番組が好きだったので、学校は「人生のサブの場所」、テレビの前が「人生のメインの場所」という感じ」

お笑いコンビ「流れ星」のちゅうえいさんも、こんなことを書

いています。

ちゅうえいさん

「こんなオモシロイ俺でも、いじめられてたときあったよ。夏休みは一人、図書館で本読んでた。で、学校の誰かが来たと思ったら確認もせず裏口から飛び出すの。でもいいこともあったな。足音を聞き続ける事で耳がよくなったよ！がんばっちゅうえい！」

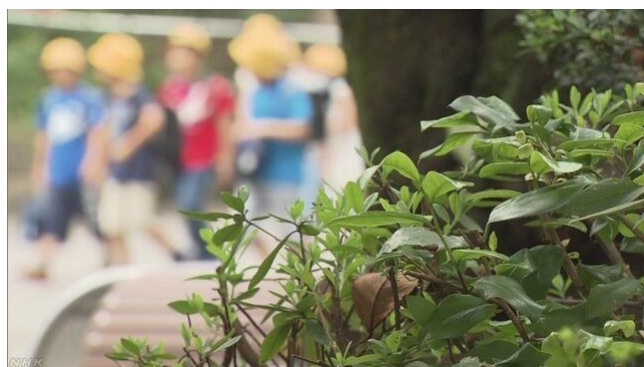
みんな、しんどいときがあったんだね。それでね、学校や教育のことをすごくよく知っている尾木ママさんは、こんなことばを寄せてくださいました。



尾木直樹さん

「学校って絶対に行かなきゃいけない場所？ 学校は休んじやいけないの？ 学校が安心して過ごせる場所じゃないなら行かなくてもいいのよ。緊急避難だもの。休むのも自分を守る大切な権利。大丈夫！ 安心してね」

ほんとうにつらかったら、学校行かなくてもいいんだ、って呼



びかけているんだ。

“居場所”があるよ

「学校に行かなかったら、どこにいればいいんだろう？」

そうだね、不安に思うよね。夏休み終わったのに、ずっとおうちにいるのもしんどいし…。

実は、そんなときにすごせる場所があるんだよ。

フリースクール

1つは「フリースクール」っていうところ。自分にあったペースで勉強したり本を読んだり、楽器や工作で遊んだりして、自由にすごすことができるんだ。気軽に相談できる大人もいて、悩みや気持ちを受け止めてくれるはずだって。全国に470ほどあって、夏休み

フリースクール全国ネットワークは、子ども中心の理念に
立って運営するフリースクール、子どもの居場所、ホーム
エデュケーションネットワークなどの団体が連携・協力・
交流し、新しい学び・成長の場の可能性や教育選択の多様
化を高める事業をしています。子どもが幸せに生きられる
社会づくりの助けになることを願っています。

■連絡先 TEL&FAX 03-5924-0525 (毎週平日9:30~18:00) E-mail : info@freeschoolnetwork.jp
■住所 〒114-0021 東京都北区岸町1-9-19 コーエイビル2階

日本全国の不登校子どもの居場所・フリースクールをつなぐネットワーク

MENU

- 団体概要
- 加盟団体一覧
- 不登校・フリースクール情報
- 政策提言活動
- 書籍紹介

加盟フリースクール一覧

スタッフ・ボランティア募集

政策提言活動

第2回 アジア・太平洋
フリースクール大会
In Tokyo
2017年8月10日(水)~11日(木)

の前には、無料ですごせるようにしているところもあるらしいよ。

「フリースクール全国ネットワーク」のHP

「フリースクール全国ネットワーク」というグループの事務局長、松島裕之さんも、小学4年生のころから中学校を卒業するまで、いじめなどのせいでずっと不登校になったんだって。松島さんは「学校に行っていたかどうかなんて、大人になるとあまり大きな差にはならないよ。学校以外で体験できることや出会える仲間もいるから、学校に行けないだけで将来に絶望しないで。つらいときは学校以外の選択肢があることを知っておいてくださいね」と話していたよ。

児童館

ほかにも、「児童館」という施設があるんだ。卓球台とか一輪車とか、けん玉などの、いろんな遊び道具がそろっていて、子どもたちと一緒にいるのが得意な大人の人もいてくれるんだ。「いるところがなかったら児童館にいつてみよう」とか、「しんどくなったらおいでよ」などとメッセージも出していて、気軽に顔を出せると思う。全国で4600か所以上もあるらしいからすごいね。きっと近くにもあるんじゃないかな。

図書館



あとね、身近なところだと、図書館っていう方法もあるんだ。一日いても怒られないし、見守ってもらえるから、覚えておいてね。

相談できるところもあるよ

こういう施設に行く前に、まずは電話などで気軽に相談することもできるんだ。苦しいことや悩みがあったら、ひとりで抱え込まず、打ち明けてみるのが大事だよ。

チャイルドライン

電話0120-99-7777（月～土：午後4時～9時）

全国70か所に拠点があって、ふつうのおうちの大人や、学生、学校の先生をやめた人などが相談にのってくれるんだ。電話代が無料でかけられるよ。9月6日までは、チャットでも相談にのってくれるらしい（午後4時～6時）。相談するときは名前を言わなくていいし、話したことはないしょにしてくれるそうです。



24時間子供SOSダイヤル

0120-0-78310（24時間）

夜中も含めて24時間相談できるんだ。先生をやめた人や、心の問題についてよく知っている人たちが電話に出てくれます。電話代無料です。

いのちの電話

0570-783-556（午前10時～午後10時）

自殺を防ごうと、ずいぶん前から活動しているところなんだ。ふだんは電話代がかかるけれど、毎月10日の午前8時から次の日の午前8時までは、電話番号0120-783-556で、電話代無料で相談できます。

フリースクール全国ネットワーク

03-5924-0525

#8月31日の夜に。 新学期が憂うつなあなたに

「#8月31日の夜に。」って？

8月31日、もう夏休みも終わり、学校のことを考えると、モヤモヤ、憂うつな気分が…。
Eテレでは、10代のみなさんに向けて、そんな気分を受け止め、すこしでも解消できるよう、さまざまな番組を放送します。
「#8月31日の夜に」でツイートを集集中。身近な悩みから誰にも言えないつらい思いまで…。投稿をお待ちしています。

#8月31日の夜に でツイートを募集中 (70文字程度)

夏休みの終わり
どんな気持ちで過ごしていますか？

「友達と上手くいっていないので新学期が憂うつ」

さっき紹介した「フリースクール」のことは、ここに聞いてみてね。近くにあるといいね。それから、NHKの「Eテレ」は、学校のことを考えると気持ちが沈んでしまうというみんなのために、8月31日の夜、いろんな番組を放送します。「#8月31日の夜に」とい

うサイトものぞいてみてね。http://nhk.jp/831yoru

生きていることが大事だよ

居場所がないなと思ったとき、つらいよね。しんどいよね。「ずるい」って思われても、かっこ悪くても、できが悪くたって、いいんだよ。生きていることが大事なんだよ。忘れないでいてね。



保護者のみなさんへ

この時期、子どものちょっとしたサインに気付いてあげることが大事だということです。

神奈川県川崎市のフリースクール「フリースペースえん」を運営するNPO法人の理事長で、長年、不登校の子どもや保護者の相談に応じてきた西野博之さんによりますと、子どもにとって自分を取り巻く状況や気持ちを言葉で

説明するのは難しく、また、心配をかけないように、気持ちを口に出さず我慢する子どもも多いそうです。このため、子どもの“SOS”に周りの大人が早く気付いてあげることが何より大切だということです。

注意が必要なサイン

西野さんや子どもの支援活動を行う団体によりますと、次のような兆しは要注意です。

- ・「学校に行きたくない」「学校が嫌だ」などと話す。
- ・頭痛や腹痛、それに、思うように体が動かないなどの体の不調を訴える。
- ・何度も肩をすくめたり、まばたきをしたりする。
- ・長時間、繰り返し手を洗ったり、長い時間、風呂に入ったりする。
- ・急にイライラしたり、落ち込んで話さなくなったりする。
- ・逆に、急に明るくなる。



こうした変化が見られるときは、学校や、子どもの支援にあたる団体などに相談し、学校を休んで心と体を休めることが大切だということです。

さらに、子どもと向き合うときの姿勢について、NPO法人「チャイルドライン支援センター」の理事で、長崎市でフリースクールを運営する中村尊さんは、次のように指摘しています。

「SOSを発する子どもに『それぐらいのことで…』と返したり、『行かなくてどうするの』と責めたりしないでください。まずは子どもの思いに気付けるよう言葉をかけ、命を守ってあげてください。そして、どうすれば笑顔で個性を伸ばしていけるか、子どもと一緒に考えていきましょう」

(ネットワーク報道部記者 大窪奈緒子 栗原岳史 玉木香代子)

成人年齢18歳引き下げ後も飲酒・喫煙は20歳以上 警察庁検討、現行法維持へ

産経新聞 2017年8月31日

成人年齢を20歳から18歳へ引き下げる民法改正が行われた場合でも、20歳未満に禁じている飲酒と喫煙の現行法の規定を維持する方向で警察庁が検討していることが30

日、同庁への取材で分かった。健康被害への懸念から、引き下げに慎重な意見が根強いとされている。20歳未満禁止維持の方針で調整している競馬、競輪など4つの公営ギャンブルと歩調を合わせる形となる。政府は民法改正案を今秋の臨時国会に提出したい構えだ。

飲酒と喫煙は、警察庁が所管する未成年者飲酒禁止法と未成年者喫煙禁止法とともに「20歳未満」は禁止されている。いずれも条文に年齢を明記しており、成人年齢が18歳に引き下げられても、両法を改正しない限り、20歳未満は飲酒や喫煙はできない。

ただ、両法は名称に「未成年」の表記があり、民法改正で18歳未満が未成年になると、飲酒と喫煙の禁止年齢が18歳未満と捉えられるため、名称は変更される可能性が高い。警察庁の担当者は「内容は変わらないが、名称は『20歳未満喫煙禁止法』などと変える必要がある」としている。

自民党の成人年齢見直しに関する特命委員会は平成27年9月、成人年齢を18歳に引き下げよう政府に求める提言をまとめたが、飲酒と喫煙の禁止年齢については、賛否両論が出たため、結論を見送っていた。一方、日本医師会や市民団体などからは、依存症や健康被害への懸念があるほか、事故や暴力など社会問題のリスクを高めるとして、引き下げ反対の意見が出ていた。競馬、競輪、ボートレース（競艇）、オートレースの公営ギャンブルは、それぞれ現行法で「未成年者」が馬券などを買ったり、譲り受けたりすることを禁じている。

成人年齢引き下げに伴う対応

法律名	現行	改正案
民法	成人年齢は20歳	18歳へ引き下げ
未成年者飲酒禁止法	20歳未満は禁止	20歳未満は禁止 (法律名は変更)
未成年者喫煙禁止法		
競馬法	未成年は禁止	20歳未満は禁止
自転車競技法		
モーターボート競走法		
小型自動車競走法		

“健康格差を埋める” AIプロジェクトスタートへ NHK ニュース 2017年8月31日

AI＝人工知能を活用して健康でいられる寿命を延ばし、社会保障費の削減にもつなげるシステムをつくる産学共同のプロジェクトが、来月から進められることになり、都内で概要を説明する記者会見が開かれました。

このプロジェクトは、国の予算を受けて筑波大学やNTTグループなどが共同で研究と開発を進めます。研究のもとになるのは住民の健康政策に力を入れてきた全国の自治体のおよそ74万人分のデータで、各自治体が健康診断のデータなどを入力すると、その自治体に適した政策を示すAI＝人工知能の開発を目指します。

このシステムでは「高血圧」や「糖尿病」など、何が自治体の重点的な課題となっているのかや、「食事の習慣」や「肥満」など課題の原因がどこにあるのか、またほかの自治体の取り組みを参考に、効果がのぞめる具体的な健康政策も示していくということです。

プロジェクトではこのシステムを新潟県見附市と茨城県常総市で実際に活用して効果を探り、全国の自治体にも広めていきたいということです。

筑波大学大学院の久野譜也教授は「自治体の間では取り組みや人材の違いもあり『健康格差』が生まれている。AIが格差を埋める一助になるのではないかと話しています。



月刊情報誌「太陽の子」、隔月本人新聞「青空新聞」、社内誌「つなぐちゃんベクトル」、ネット情報「たまにブログ」も
 大阪市天王寺区生玉前町5-33 社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所発行